

令和7年

10月～12月実施分

	講座名	日程
1	製造現場の 品質管理入門講座	10月 6日(月)～ 7日(火) AM8:45～PM4:40
2	製造業種のDX推進・活用研修	10月16日(木)～17日(金) AM8:45～PM4:40
3	低圧電気取扱業務特別教育	10月21日(火)～22日(水) AM8:45～PM5:00
4	女性社員キャリアアップ研修	10月22日(水)～23日(木) AM8:45～PM4:40
5	ISO9001 内部監査員養成研修	11月 11日(火)～12日(水) AM8:45～PM4:40
6	生産現場で求められる 原価管理とコストダウンの進め方	11月 18日(火)～19日(水) AM8:45～PM4:40
7	産業用ロボット特別教育【学科】 ＜産業用ロボットの教示・検査等の業務＞	11月19日(水)～20日(木) AM8:45～PM5:00
8	業務に役立つ Excel 基本操作と関数活用	12月 9日(火)～10日(水) AM8:45～PM4:40



SKILL UP



仙南地域職業訓練センター

【柴田郡柴田町船岡照内 1 - 9 TEL0224-57-1501 Fax0224-55-2250】

製造現場の品質管理入門講座

【講座案内】

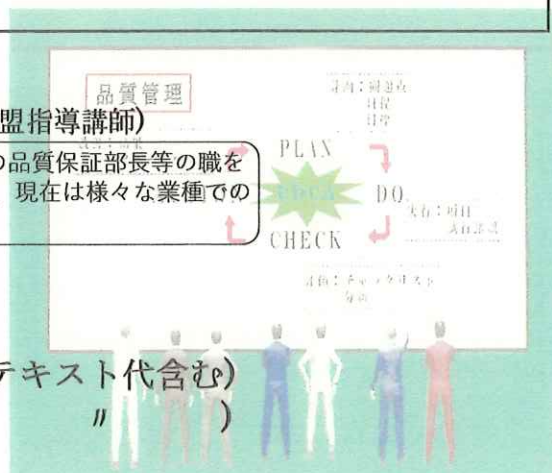
品質管理の入門編として品質管理の基礎を習得しようとする方を対象に、職場における品質管理・品質責任の在り方を理解しながら、統計的手法を用いたデータの扱い方・データ処理やQC 7つ道具等の様々な品質管理手法の活用法について、事例や演習を交えながら体得していただきます。

講 座 内 容
1. 品質管理活動の歴史 ①品質管理の歴史 ②TQC と TQM ③QC サークル活動
2. 品質管理的ものの見方・考え方 ①品質とは何か ②管理とは何か ③品質保証の考え方 ④標準化とは何か
3. QC七つ道具と新QC七つ道具の活用と理解 ①事実に基づく管理 ②データの種類 ③データの取り方とまとめ方 ④QC 活動で活用する手法(グラフ・パレート図・特性要因図、＜パレート図演習＞) ⑤現場の検査で活用できる手法(散布図・ヒストグラム・管理図、＜工程保証能力演習＞) ⑥言葉で表したデータ処理手法(親和図・連関図・統計図・マトリックス図の演習)
4. 問題解決の手順(問題解決・課題達成) ①問題解決(問題解決・課題解決)のための定石 ②QC 七つ道具、新 QC 七つ道具の活用方法 ③工程の管理と改善事例
5. 現場での品質活動の実践促進 ①PDCA の活用等

【講 師】：(合)Masatoko-QMS

代表 向井正人 氏 (日本科学技術連盟指導講師)

本田技研工業㈱に入社し、二輪事業本部の品質保証部長等の職を歴任しホンダ二輪車の品質領域を経験し、現在は様々な業種での品質指導行っている。



【実施日時】：10月6日(月)～7日(火)

午前 8:45～午後 4:40

【受講料】：[会員企業] 15,500円 (テキスト代含む)

[会員外企業] 19,000円 (")

【定 員】：15人

【会 場】：仙南地域職業訓練センター (柴田町船岡照内1番地の9 TEL0224-57-1501)

【申込方法】：受講を希望される場合には、別紙「受講申込書」、電話連絡等により、9月26日(金)までに、当訓練センターへ申し込みください。(電話予約可)

☆ 仙南地域職業訓練センター

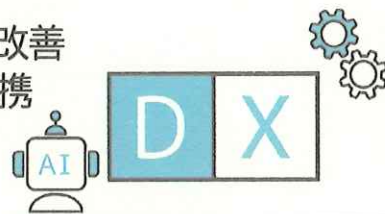
(柴田町船岡照内1番地の9 TEL0224-57-1501 Fax0224-55-2250)

製造業種のDX推進・活用研修

【講座案内】

製造現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視、制御にICTやIoT等のデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革(DX)を推進して、生産性の向上やビジネス競争力を獲得する方法を理解していただきます。

講 座 内 容
1.製造業におけるDXの理解 ①スマートファクトリ、 ②スマートプロダクト ③スマートサービス ④先行企業と比べたDX推進状況の現状把握と認識
2.DX実現事例の活用 ①ITCやIoT技術等の製造現場での活用とその効果 ②データ収集・システム連携・活用方法
3.DX推進の目標設定と解決策(演習含) ①DX適用範囲の決定と目標設定 ②解決策の検討 ③DX化の設計
4.DX推進の計画と実行 ①生産活動の見える化と取得データを活用した改善 ②RPA(PowerAutomate)によるアプリ間連携 ③Chat-GPT による生成 AI 活用術 ④Canva でのプレゼン資料作成



[講 師] : GIU コンサルティングオフィス

代 表 後 藤 武 志 氏

コンピュータメーカー系システムインテグレータへ入社し、各種システム開発に従事、2014年にITコーディネータとして独立、県内を中心に各種情報利活用の指導・支援を行っている。

[実施日時] : 10月16日(木)～17日(金)

午前8:45～午後4:40(計2日間)

[受講料] : [会員企業] : 8,000円 [会員外企業] : 10,000円

[定 員] : 10人

[会 場] : 仙南地域職業訓練センター(柴田町船岡照内1番地の9 TEL0224-57-1501)

[申込方法] : 当講座を受講希望される方は、受講申込書及び電話予約にて、10月8日(水)までに当訓練センターへ申込み下さい。(TEL・Faxでの受講予約可)

仙南地域職業訓練センター

(柴田郡柴田町船岡照内1-9 TEL0224-57-1501 Fax0224-55-2250)

低圧電気取扱業務特別教育

【 講 座 案 内 】

労働安全衛生法では、事業者は感電等の災害を防止するため、従業員に「低圧(直流 750V 以下・交流 600V 以下)の充電電路の敷設若しくは修理の業務又は配電盤室、変電室等区画された場所に設置する低電圧路のうち充電部分が露出している開閉器の操作の業務」に就かせるときには、安全又は衛生のための特別教育を行うことが義務付けられています。

当該特別教育を事業者になわって実施し、修了者には特別教育修了証を交付いたします。

講	座	内	容
【学 科 (計 8 時間)】			
・ 低圧の電気に関する基礎知識		(2 時間)	
・ 低圧の電気設備に関する基礎知識		(2 時間)	
・ 低圧用の安全作業用具に関する基礎知識		(1 時間)	
・ 低圧の活線作業及び活線接近作業の方法		(2 時間)	
・ 関係法令		(1 時間)	
【実 技 (計 8 時間)】			
・ 低圧の活線作業及び活線接近作業の方法			
(安全用具の使用前点検/各種測定器の使用方法/低圧充電電炉の 停電/復電の確認/充電部が露出している開閉器の操作方法)			

[講 師]: ㈱安全教育センター
小野寺征博氏

[実施日時]: 10月21日(火)～22日(水)
午前 8:45～午後 5:00 (計 16H)

[受講料]: 会員企業 12,500円 (テキスト代含む)
会員外企業 15,500円 (//)

[定 員]: 15 人 (定員になり次第締め切ります。)

[会 場]: 仙南地域職業訓練センター(柴田町船岡照内1-9 TEL0224-57-1501)

[申込方法]: 受講希望の方は別紙「普通職業訓練受講申込書」及び、電話・ファックスにより
10月10日(金)までに当訓練センターへ申込み下さい。(電話・FAX予約可)



☆仙南地域職業訓練センター
(柴田町船岡照内1-9 TEL0224-57-1501 Fax0224-55-2250)

女性社員キャリアアップ研修

【講座案内】

企業や組織において活躍の場が大きく広がっている女性社員の方を対象に、組織でのより良い人間関係を形成するためのコミュニケーションスキル、周囲からの期待に応えるためのリーダーシップスキルを身に付けることにより、明るく・活力ある職場づくりを目指していただきます!!
また、この機会に自分自身のキャリアを見つめ直すことにより、日々の仕事に取り組むための“意識改革”を促していただきます。

講 座 内 容
1.女性社員の役割と心構え ①女性社員の役割 ②中堅女性社員としての心構え
2.女性社員としての姿勢と態度 ①自分自身を知る(交流分析) ②好ましい自分にするためのプラン作り ③職場での人間関係改善
3.女性社員としての仕事の進め方 ①ビジネス意識の再確認 ②改善意識・問題意識の持ち方 ③仕事の優先順位・仕事の段取り ④PDCA
4.求められるリーダーシップスキル ①リーダーシップ能力 ②協調性と創造性
5.人を動かすコミュニケーション ①「話す力」論理的な話し方 ②「聴く力」共感的な聞き方

[実施日時] : 10月22日(水)～ 23日(木)
午前 8:45 分～午後 4:40 分

[受講料] : 会員企業 15,500 円 (テキスト代含む)
会員外企業 19,000 円 (")

[講師] : ㈱セールスリンク
代表 佐藤なな子 氏

【「普通の人々が普通に働いて成果を出す」仕組みづくりと、現場定着にこだわり、幅広い業種を対象とした職種別研修・生産管理や間接部門管理等の部門研修、CS研修・クレーム対応のスキル研修等、県内屈指の研修講師として多岐にわたる研修実績がある。】



[定 員] : 12人

[会 場] : 仙南地域職業訓練センター(柴田町船岡照内1番地の9 Tel0224-57-1501)

[申込方法] : 当講座を受講希望される場合には、当センター「受講申込書」及び、
FAX・電話等により、10月10日(金)までに当訓練センターへ申込み下さい。(電話・FAXでの申込予約可)

※仙南地域職業訓練センター

(柴田町船岡照内1番地の9 Tel0224-57-1501 Fax0224-55-2250)

ISO9001 (2015 年版) 内部監査員養成研修

訓練内容

2015 年 9 月に発行された ISO9001:2015 年版の要求事項の内容を理解していただくことにより、内部監査に必要な基礎知識、実際の内部品質監査の進め方を演習・ロールプレイを通して習得し理解していただきます。なお、修了者には、修了書を発行いたします。

講座内容

1. ISO9000 システム構築・運用の基本的な考え方
2. ISO9001:2015 品質マネジメントシステム要求事項の解説
3. 内部監査の基本的な考え方
4. 内部監査の進め方の理解
5. 内部監査(ロールプレイ)の実施
 - ①チェックリストの作成
 - ②模擬監査
6. 監査所見の作成
(不適合報告書の書き方・是正処置の実施方法)

ISO
9001

※ 修了者には、当研修の修了証書を発行いたします。

【講師】：㈱ISO ブレイン
代表取締役 吉田 尚氏

製造業に従事後、ISO9001 のコンサルタント及び審査員として
約 20 年の経験があり、審査員としての実績は 700 社以上に上る。

【実施日時】：令和 7 年 11 月 11 日(火) ～ 12 日(水)
午前 8:45～午後 4:40

【対象者】：ISO9001:2015 年版の認証取得を検討・計画中の社内品質マネジメント
システム構築維持の推進事務局、スタッフ、経営幹部を含む経営者の方々。

【受講料】：16,000 円 (テキスト代含む)
[当会会員外事業所の方は、19,500 円となります。]

【定員】：15 名 (定員になり次第締切ります)

【会場】：仙南地域職業訓練センター (柴田町船岡照内 1-9 TEL0224-57-1501)

【申込方法】：受講を希望される場合には、別紙「受講申込書」、電話予約・Fax 等によ
り、10 月 31 日(金)までに仙南地域職業訓練センターへ申し込みください。
(電話予約可)

☆仙南地域職業訓練センター (柴田町船岡照内 1-9 TEL0224-57-1501 fax0224-55-2250)

☆ 生産現場で求められる ☆

原価管理とコストダウンの進め方

【講座案内】

製造業において“コストダウン”は永遠の課題です。

当講座では、生産現場での原価管理とコストダウンについて仕組みと体系を把握し、原価管理をコストダウンにつなげる考え方や現場で効率的にコストダウンを進める手法について、演習を交えながら実践的に習得します。

講 座 内 容

1.原価の仕組み

- ①会社のお金の動きと利益 ②材料費・労務費・経費とは何か
- ③材料費の計算のやり方 ④加工費の計算のやり方

2.コストダウンの取り組み方

- ①コストダウンには定石がある
- ②原価管理をコストダウン成果へつなげるためには、
- ③管理・改善のコストダウン余地を知る
- ④ロスをつぶすには原則がある

3.机上でQCDの重要性を体感する

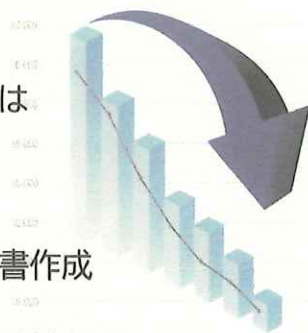
- ①実習オリエンテーション ②作業手順と決算書作成

4.究極の材料費を追求する

- ①材料費のロスは4つある ②技術歩留ロスを改善する
- ③製造歩留ロスを低減する ④(事例)部品メーカーの品質コスト削減策

5.究極の材料費を追求する

- ①労務費のロスには4つある ②時間ロスの内容と分類
- ③生産性を倍増する能率向上のポイント



【予定講師】：㈱MEマネジメントサービス

大塚泰雄 氏 (予定)

【大手工作機械メーカーにて開発・設計、製造、営業技術等を経験され、マネジメントコンサルタントとして、設計・生産技術・購買・製造部門の原価管理システムの立案・構築・実施や VE、IE、総合的コストダウンを展開し、企業の業績を改革する豊富な業務実績がある。】

【実施日時】：11月18日(火)～19日(水)

午前 8:45～午後 4:40

【対象者】：原価監理部門・製造部門・生産管理部門・技術部門等の担当者、コストダウン推進者等の方

【受講料】：15,500円 (テキスト代含む)

〔当会会員外事業所の方は、19,000 円となります。〕

【定 員】：10名

【会 場】：仙南地域職業訓練センター (柴田町船岡照内1-9 TEL0224-57-1501)

【申込方法】：当講座の受講を希望される場合には、別紙「受講申込書」又は電話・Fax 等により、当センターへ申込みください。【締切:11月7日(金)】

※ 仙南地域職業訓練センター(柴田町船岡照内 1-9 TEL0224-57-1501 Fax0224-55-2250)

産業用ロボットの業務に係る特別教育【学科】

【産業用ロボットの教示・検査等の業務】

講 座 案 内

労働安全衛生法の規定により、事業者には産業用ロボットの教示・検査等の業務に就かせる者に対して所定の特別教育を実施することが義務付けられております。(労働安全衛生法第 59 条第 3 項) 安全衛生特別教育規程では、教示等の業務と検査等の業務は別になっておりますが、両業務を混成した学科教育を下記により実施し、ロボットの基礎並びに操作に関する知識、メンテナンスに関する知識と安全管理、メンテナンス方法等を座学(学科のみ)で学んでいただきます。

講	座	内	容
1. 産業用ロボットに関する知識 [4H]			
①産業用ロボットの種類 ②制御方式 ③駆動方法			
④各部の構造及び機能並びに取扱いの方法			
⑤制御部品の種類及び特性			
2. 産業用ロボットの教示等の作業に関する知識 [4H]			
①教示等の方法 ②教示等の作業の危険性			
③関連する機械等との連動の方法			
3. 産業用ロボットの検査等の作業に関する知識 [4H]			
①検査等の作業の方法 ②検査等の作業の危険性			
③関連する機械等との連動の方法			
4. 関係法令 [2H]			
①法令及び安全衛生規則中の関連条項			



注 1) 当教育は学科のみを行うものです。学科修了者には「学科教育修了証」を交付します。

注 2) 実技教育については、各事業所で①産業用ロボットの操作の方法(1H)・②産業用ロボットの教示等の作業の方法(2H)・③産業用ロボットの検査等の作業の方法(3H)を学科教育修了者に対し必ず実施してください。

【講 師】：㈱エイジェック仙台能力開発センター担当講師

認定職業訓練校として、2020 年 1 月に自社ロボテックスセンターを開設し、社内人材を中心に幅広い人材育成を展開し指導されている。

【実施日時】：11 月 19 日(水)～ 20 日(木)
午前 8:45～午後 5:00

【受講料】：14,000 円(テキスト代含む)
[当会会員外事業所の方は、16,000 円となります。]

【定 員】：12 人

【会 場】：仙南地域職業訓練センター(柴田町船岡照内 1 番地の 9 Tel0224-57-1501)

【申込方法】：当講座を受講希望される方は、受講申込書及び電話予約にて 11 月 10 日(月)までに当訓練センターへ申込み下さい。(Tel・Fax での受講予約可)

※ 仙南地域職業訓練センター(Tel0224-57-1501 Fax0224-55-2250)

業務に役立つ Excelの基本操作と関数活用

【講座案内】

表計算ソフト(Excel365)を使用し、業務での各種用途に応じた業務改善につながる活用方法と、事務処理に必要なデータ処理における基本的な関数の操作について習得します。

講 座 内 容
1.表計算ソフト【Excel2019】の概要と基本操作 (1)Excel の概要と特徴 (2)データの入力 (3)簡単な計算式の入力 (4)ショートカットキーの使い方
2.文書作成ソフトと表計算ソフトの用途の違い (1)表計算ソフト(Excel)・文書作成ソフト(Word)の得意分野 (2)データベースソフトとの違い
3.ワークシートの活用 (1)計算式の入力(合計・平均) (2)表の作成(罫線) (3)グラフの種類と選択 (4)グラフの作成と編集
4.データ処理 (1)様々な関数(MAX 関数、MIN 関数、COUNT 関数、COUNTA 関数) (2)関数の活用法

[講 師]：パソコンインストラクター
伊藤一実 氏

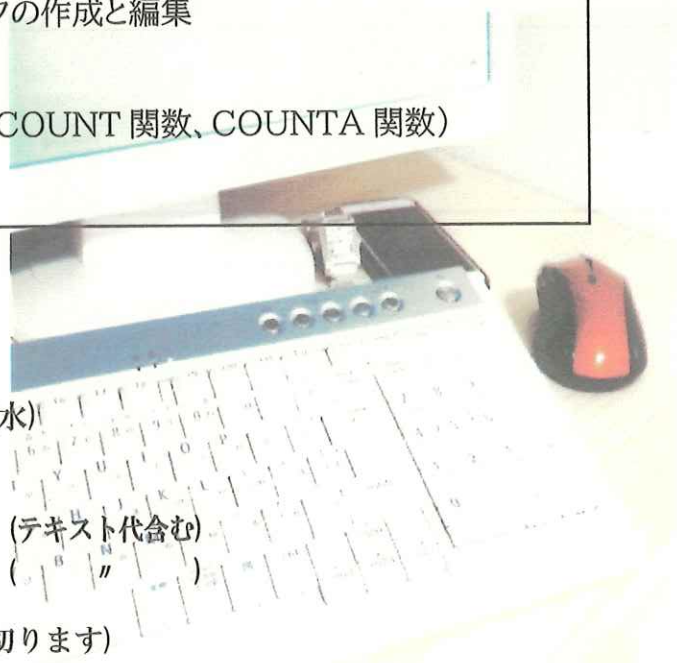
[実施日時]：12月9日(火)～10日(水)
午前8:45分～午後4:40分

[受講料]：会員企業 6,000円 (テキスト代含む)
会員外企業 8,000円 (")

[定 員]：10人 (定員になり次第締め切ります)

[申込方法]：当講座を受講希望される方は、「電話予約」及び「受講申込書」にて
12月1日(月)まで、仙南地域職業訓練センターへ申し込みください。
(電話・Fax予約可)

☆ 仙南地域職業訓練センター
(柴田町船岡照内1番地の9 Tel0224-57-1501 Fax0224-55-2250)



決裁欄	所長		事務局長		担当		受付NO	
-----	----	--	------	--	----	--	------	--

普通職業訓練受講申込書

令和 年 月 日

職業訓練法人
仙南地域職業訓練協会長 殿

事業所所在地:

事業所名:

事業主名:

印

普通職業訓練を受講したいので、下記のとおり申し込みます。なお、貴会の諸規定、諸指示を固く守り、ご迷惑をかけないことを誓います。

記

訓練課程	普通職業訓練・短期課程		
訓練科・コース名	科・コース		
実施年月日	令和 年 月 日から 月 日(計 回)		
(ふりがな)			性別
受講者氏名			男・女
生年月日	昭和・平成 年 月 日生(満 歳)		
住 所	〒 TEL() -		
最終学歴	中学・高校・短大・大学・その他()	卒業年月日 昭和・平成・令和 年 月	
採用年月日	昭和・平成・令和 年 月 日		
職務内容		実務経験年数	年
雇用保険 被保険者番号			
雇用保険適用 事業所番号			
資本金額	万円	事業所全体の 常用従業員数	人
業種又は主な事業内容 (該当業種に○を付けて下さい)	①小売業 ②サービス業 ③卸売業 ④製造業 ⑤建設業 ⑥その他()		
当センターでの受講歴 (受講歴に○を付けて下さい)	有・無 (有の場合:研修・講座名〔 〕)		

※雇用保険番号確認のため「雇用保険被保険者資格取得等確認通知書」(写)の提出もお願いいたします。